

2003.2.3. 山口大学病院 DIセンター  
( 22-2668 )

Drug Safety Update No.115 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印 : その他

成分名(薬品名)	主な改訂内容
スルピリド(ドグマチル錠)	<p>警告：著しい血糖値の上昇から糖尿病性外アクト-シ、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現、死亡に至る場合があるので、投与中は血糖値の測定等の観察を十分行うこと。投与にあたっては、あらかじめ上記副作用が発現する可能性があることを、患者及びその家族に十分説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の異常に注意するよう指導。</p> <p>禁忌：糖尿病の患者、糖尿病の既往歴のある患者</p> <p>慎重投与：糖尿病の家族歴、高血糖あるいは肥満等の糖尿病の危険因子を有する患者</p> <p>重要な基本的注意：本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から糖尿病性外アクト-シ、糖尿病性昏睡等の致命的な経過をたどることがあるので、投与中は血糖値の測定、口渇、多飲、多尿、頻尿等の観察を十分行うこと。特に、高血糖あるいは肥満等の糖尿病の危険因子を有する患者では、血糖値が上昇し、代謝状態を急激に悪化させるおそれがある。本剤の投与に際し、あらかじめ上記副作用が発現する可能性があることを、患者及びその家族に十分説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の異常に注意。本剤の投与により体重増加を来すことがあるので、肥満に注意し、肥満の徴候があらわれた場合には、食事療法、運動療法等の適切な処置を行うこと。</p> <p>重大な副作用：高血糖、糖尿病性外アクト-シ、糖尿病性昏睡（高血糖があらわれ、糖尿病性外アクト-シ、糖尿病性昏睡から死亡に至るなどの致命的な経過をたどることがあるので、血糖値の測定や、口渇、多飲、多尿、頻尿等の観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、インスリン製剤の投与を行う等の処置を行うこと。）</p>
スルピリド(ドグマチル経口剤)	<p>禁忌：本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍(プロラクチノーマ)の患者</p> <p>重大な副作用：QT延長、心室頻拍(Torsades de pointesを含む)、AST、ALT、<math>\gamma</math>-GTP、ALPの上昇を伴う肝機能障害、黄疸</p>
以外	<p>併用注意：QT延長を起こすことが知られている薬剤(チリダジン、イプラミン、ピロリド等；QT延長、心室性不整脈等の重篤な副作用を起こすおそれあり)</p> <p>慎重投与：QT延長のある患者(QT延長が悪化するおそれあり)、QT延長を起こしやすい患者(QT延長が発現するおそれあり；著明な徐脈のある患者、低K血症のある患者)</p>
カンデサルタンシキシル(プロプレス錠)	<p>重大な副作用：間質性肺炎(発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う間質性肺炎があらわれた場合には副腎皮質ホルモン剤等の投与等の処置を行うこと。)</p>
以外	<p>その他の副作用：低Na血症</p>
アルプラゾラム(ソナックス錠)	<p>禁忌：HIVプロテアーゼ阻害剤(インジナビル等)を投与中の患者</p> <p>併用禁忌：HIVプロテアーゼ阻害剤(インジナビル等)</p> <p>併用注意：リトビル、マレイン酸カルベキサミン(本剤の血中濃度が上昇するおそれがある)、イトラコナゾール(本剤の血中濃度が上昇し、本剤の作用を増強するおそれがある)</p>
フェニトインナトリウム(アルビアチン注)	<p>適応上の注意「投与時」：静脈注射に際しては、薬液が血管外に漏れると疼痛、発赤、腫脹等の炎症、壊死を起こすことがあるので、慎重に投与。静脈内注射時に、血管外漏出が明らかではない場合においても、投与部位に皮膚の変色、疼痛、浮腫が起こり、次第に遠位部に広がり、さらに壊死に至ることもある。</p>

塩酸スロピリド（バルネチル錠）	<p>禁忌：本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、プロラクチン分泌の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者、QT延長を起こすことが知られている薬剤（チリダジン、イプラミン、ピロピド等）を投与中の患者</p> <p>併用禁忌：QT延長を起こすことが知られている薬剤（チリダジン、イプラミン、ピロピド等）</p> <p>慎重投与：QT延長のある患者（QT延長が悪化するおそれあり）、QT延長を起こしやすい患者（QT延長が発現するおそれあり；著明な徐脈のある患者、低K血症のある患者）</p> <p>重大な副作用：QT延長、心室頻拍（Torsades de pointesを含む）</p>
加バジロール＜慢性心不全の効能を有する製剤＞（アキスト錠）	<p>警告：慢性心不全患者に使用する場合に、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること。</p> <p>禁忌：強心薬または血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者（心収縮力抑制作用により、心不全が悪化するおそれがある）、非代償性の心不全患者（心収縮力抑制作用により、心不全が悪化するおそれがある）、未治療の褐色細胞腫患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>用法・用量に関連する使用上の注意：</p> <p>褐色細胞腫の患者では単独投与により急激に血圧が上昇するおそれがあるので、遮断薬で初期治療を行った後に本剤を投与。慢性心不全を合併する本態性高血圧症、腎実質性高血圧症または狭心症の患者では慢性心不全の用法・用量に従うこと。</p> <p>＜慢性心不全の場合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性心不全患者に投与する場合には、必ず1回1.25mgまたはさらに低用量の1日2回投与から開始し、忍容性および治療上の有効性を基に個々の患者に応じて維持量を設定すること。</li> <li>本剤の投与初期および増量時は、心不全の悪化、浮腫、体重増加、めまい、低血圧、徐脈、血糖値の変動、および腎機能の悪化が起こりやすいので、観察を十分に行い、忍容性を確認すること。</li> <li>本剤の投与初期および増量時における心不全や体液貯留の悪化（浮腫、体重増加等）を防ぐため、本剤の投与前に体液貯留の治療を十分に行うこと。利尿薬増量で改善が見られない場合には本剤を減量または中止。低血圧、めまいなどの症状がみられ、アンギオテンシン変換酵素阻害薬や利尿薬の減量により改善しない場合や、高度な徐脈を来たした場合には本剤を減量。またこれら症状が安定するまで本剤を増量しないこと。</li> <li>本剤を中止する場合には、急に投与を中止せず、原則として段階的に半量ずつ2.5mgまたは1.25mg、1日2回まで1～2週間かけて減量し中止すること。</li> <li>2週間以上休薬した後、投与を再開する場合には「用法・用量」の項に従って、低用量から開始し、段階的に増量すること。</li> </ul> <p>慎重投与：糖尿病を合併した慢性心不全患者（血糖値の変動のおそれ）、末梢循環障害のある患者＜レイノ症候群、間欠性跛行症等（末梢血管の拡張を抑制し、症状を悪化のおそれ）＞、過度に血圧の低い患者（血圧がさらに低下するおそれ）</p> <p>重要な基本的注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投与が長期にわたる場合に徐脈または低血圧になった場合、本剤を減量または中止すること。必要に応じて、ドパミン、イプロテロール、Eピネリン等を使用。</li> <li>甲状腺中毒症の患者では急に投与を中止すると、症状を悪化させることがあるので中止時は原則として1～2週間かけて段階的に減量すること。</li> <li>めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者（特に投与初期や増量時）には、自動車の運転等危険を伴う機械の作業をしないように注意すること。</li> <li>狭心症などの虚血性心疾患を有する患者において、本剤の投与を急に中止した場合、狭心症発作の頻発・悪化、心筋梗塞、および短時間に過度の突然の血圧上昇を起こす可能性があるため、中止を要する場合は原則として1～2週間かけて段階的に減量。虚血性心疾患以外の患者についても同様に注意（特に高齢者）。また医師の指示なしに服用中止しないことと説明。</li> </ul> <p>＜慢性心不全の場合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重症慢性心不全患者に対する本剤の投与は特に慎重な管理を要するので、本剤の投与初期および増量時は入院下で行うこと。</li> <li>左室収縮機能障害の原因解明に努めること。可逆的なものについては原因除去あるいは他の治療も考慮すること。</li> </ul> <p>併用注意：ヒドララジン（本剤の作用の増強）、アミオダロン[心刺激伝導抑制障害（徐脈、心停止等）があらわれる。定期的な心電図モニターを実施]、シロスタスタチン（シロスタチンの血中濃度が上昇。用量を調節する）、シメジリン（本剤の作用増強）</p> <p>重大な副作用：心停止、アフリケン様症状</p>

つづき(ア-キト錠)	<p>その他の副作用：</p> <p>&lt;本態性高血圧症、腎実質性高血圧症、狭心症の場合&gt;</p> <p>頻脈、心房細動、期外収縮、脚ブロック、血圧上昇、狭心症、咳嗽、呼吸困難、鼻閉、不眠、抑うつ、注意力低下、異常感覚（四肢のしびれ感等）、尿酸上昇、総 Chol 上昇、低血糖、尿糖、Al-P 上昇、LDH 上昇、TG 上昇、K 上昇、糖尿病悪化、K 低下、Na 低下、BUN 上昇、CRE 上昇、蛋白尿、涙液分泌減少、胸痛、疼痛、発汗、口渇、貧血、白血球減少、血小板減少</p> <p>&lt;慢性心不全の場合&gt;</p> <p>発疹、痒感、徐脈、動悸、頻脈、心房細動、期外収縮、房室ブロック、脚ブロック、低血圧、血圧上昇、四肢冷感、心胸比増大、狭心症、顔面潮紅、呼吸困難、息切れ、喘息様症状、咳嗽、鼻閉、めまい、不眠、頭痛、失神、眠気、抑うつ、注意力低下、異常感覚（四肢のしびれ感等）悪心、便秘、下痢、食欲不振、胃部不快感、嘔吐、腹痛、血糖値上昇、尿糖、LDH 上昇、総 Chol 上昇、CK 上昇、糖尿病悪化、Al-P 上昇、尿酸上昇、K 上昇、Na 低下、低血糖、TG 上昇、K 低下、AST 上昇、ALT 上昇、BUN 上昇、CRE 上昇、蛋白尿、尿失禁、頻尿、貧血、白血球減少、血小板減少、霧視、涙液分泌減少、浮腫、倦怠感、疲労感、胸痛、脱力感、勃起不全、耳鳴、疼痛、発汗、口渇</p> <p>高齢者への投与：過度な降圧は好ましくないとされている（脳梗塞等が起こるおそれがある）ことから、高齢者に使用する場合は低用量から投与を開始。特に高齢の重症慢性心不全患者では、本剤の副作用が生じやすいので注意する。</p> <p>小児への投与：小児等に対する安全性および有効性は確立されていない（低出生体重児、新生児には使用経験がない。乳児、幼児および小児には使用経験が少ない）</p> <p>過量投与：過量投与により、重症低血圧、徐脈、心不全、心原性ショック、心停止に至るおそれあり。また、呼吸器障害、気管支痙攣、嘔吐、意識障害、全身の痙攣発作をきたすおそれあり。処置としては、本剤を中止し、必要に応じて胃洗浄等により薬剤の除去を行うとともに、以下の処置を行う。なお、本剤は血液透析により除去されにくい。</p> <p>心不全、低血圧：強心薬、昇圧薬、輸液等の投与や補助循環を適用  気管支痙攣：<math>\beta_2</math>刺激薬またはアミノフィリンを静注する。  痙攣発作：ジアゼパムまたはクロルゼパムを徐々に静注する。</p>
フェニチンナトリウム（リパソナール錠）	<p>用法・用量に関連する使用上の注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TGのみが高い高脂血症（及び型）には、1日投与量100mgにおいても低下効果が認められているので、1日投与量を100mgより開始すること。</li> <li>・急激な腎機能の悪化を伴う横紋筋融解症があらわれることがあるので、投与にあたっては患者の腎機能を検査し、血清クレアチニン値が2.5mg/dL以上の場合には投与を中止し、1.5mg/dL以上2.5mg/dL未満の場合には100mgから投与を開始するか、投与間隔を延長して使用。</li> <li>・肝機能検査に異常のある患者または肝障害の既往歴のある患者には1日投与量を100mgから開始</li> </ul> <p>重要な基本的注意：投与中は血症脂質値を定期的に検査し、本剤の効果が認められない場合には漫然と投与しない。</p> <p>重大な副作用：重度の腹痛、嘔気、嘔吐、アマゼン上昇、リパソナール上昇等を特徴とする膵炎</p> <p>効能・効果に関連する使用上の注意：カドミウムが高い高脂血症（型）に対する効果は検討されていない。</p> <p>重要な基本的注意：AST、ALT、<math>\gamma</math>-GTP、LDH、AL-Pの上昇、黄疸、または肝炎があらわれることがあるので肝機能検査は投与開始後3ヵ月後までは毎月、その後は3ヵ月ごとに行うこと。</p> <p>重大な副作用：急性腎不全等の重篤な腎障害</p>
メチルサリチレート（ガソリン錠）	その他の副作用：発赤、掻痒感、湿疹、多形滲出性紅斑、浮腫性紅斑
ニガチン（アソナール錠）	併用注意：ゲフィチン（ゲフィチンの血中濃度が低下） その他の副作用：しびれ、乳汁分泌
炭酸水素Na・無水リン酸二水素Na（新レカボソナール錠）	禁忌：本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 重大な副作用：ショック（顔面蒼白、呼吸困難、血圧低下等）
メチルサリチレート注射液（ケイツーN注）	適用上の注意：ポリ塩化ビニル製の輸液セット等を使用した場合、可塑剤であるDEHP〔di-(2-ethylhexyl)phthalate:7-フルオロジ-(2-エチルヘキシル)〕が製剤中に溶出するおそれがあるので、DEHPを含まない輸液セット等を使用することが望ましい。

<p>ヒトインスリン&lt;遺伝子組換え&gt; (ヒューマリンR注、N注、3/7注、 ヒューマカトR注、N注、3/7注)</p>	<p>慎重投与：自律神経障害のある患者（11° 初回の欠乏により低血糖の自覚症状が明確でないことがある）</p> <p>その他の副作用：浮腫</p> <p>過量投与：低血糖は食事、11補片°-消費又はその両方との関連で、本剤が相対的に過剰となって起こることがある。また、低血糖は臨床的にいったん回復したと思われる場合にも後で再発する事があるので、炭水化物の摂取や経過観察を継続して行うことが必要な場合がある。</p> <p>適用上の注意：皮下注は腹部、大腿部、上腕部、臀部等に行う。投与部位により吸収速度が異なり、その結果作用発現時間が異なるため部位を決め、その中で注射場所を毎回変えること。</p>
<p>インスリンアスチン&lt;遺伝子組換え&gt; (ヒューマログ注カト)</p>	<p>重要な基本的注意： ・特に、食事を摂取しなかったり、予定外の激しい運動を行った場合、低血糖を引き起こしやすいので注意。低血糖が無処置の状態が続くと重篤な転帰（死亡等）をとるおそれあり。 ・肝機能障害があらわれることがあるので、倦怠感等の肝障害を示唆する症状が認められた場合は肝機能検査を行うこと。異常が認められた場合はインスリン製剤の変更等の処置をとること。 ・急激な血糖コントロールに伴い、糖尿病網膜症の顕在化又は増悪、眼の屈折異常、治療後神経障害（主として有痛性）があらわれることがある。 ・他のインスリン製剤から本剤への変更により、インスリン用量の変更が必要になる可能性がある。用量の調整には、初回の投与から数週間あるいは数ヵ月間必要になることがある。</p> <p>併用注意： &lt;血糖降下作用を増強する薬剤&gt; ・チググリド°（血糖降下作用） ・三環系抗うつ剤（塩酸フルトリン°等；機序不明。インスリン感受性を増強する報告あり） ・コハク酸パソグリ、ジピラミド°、塩酸ピルメノール（動物実験においてインスリンの分泌を促進する。血糖降下作用が増強する可能性有り） &lt;血糖降下作用を減弱する薬剤&gt; ・ダナゾール°（抗インスリン作用を有する）</p> <p>重大な副作用：倦怠感、冷汗、顔面蒼白、めまい、嘔気、意識混濁。また、長期にわたる糖尿病、糖尿病性神経障害、遮断剤投与あるいは強化インスリン療法が行われている場合には、低血糖の初期の自覚症状（冷汗、振戦等）が通常と異なる場合や、自覚症状があらわれないまま低血糖あるいは低血糖性昏睡に陥ることがある。</p> <p>その他の副作用：治療後神経障害（主に有痛性）、糖尿病性網膜症の顕在化又は増悪、屈折異常、肝機能障害、浮腫</p>
<p>シラベリン&lt;大量療法用製剤&gt; (ホサイト°N注)</p>	<p>重大な副作用：徐脈、頸部浮腫、顔面浮腫</p>
<p>塩酸オパタジン°(アロク錠)</p>	<p>重大な副作用：AST、ALT、γ-GTP、LDH、Al-Pの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸</p> <p>その他の副作用：不随意運動（顔面・四肢等）、動悸</p>
<p>ケリスロマイシン (ケリット°錠200mg・ドライン° ップ°小児用)</p>	<p>用法・用量に関連する使用上の注意：本剤を後天性免疫不全症候群（エイズ°）に伴う播種性マイコバクテリア感染症に用いる場合、投与期間、併用薬等について国内外の学会がドライン°等、最新の情報を参考にし投与すること。</p> <p>併用注意：ミダゾラム°（中枢神経系抑制作用の増強）、スルホニル尿素系血糖降下剤[グリハ°ソクアミド°等；本剤との併用により低血糖（意識障害にいたることがある）が報告されているので、異常が認められた場合には、両剤の投与を中止し、ブドウ糖の投与等の適切な処置を行うこと]</p>
<p>アソクピル°&lt;注射剤&gt; (点滴静注用ゾビラックス°)</p>	<p>その他の注意：高度の肥満を有する女性7例（標準体重の203±20.6%）に5mg/kgを投与したところ標準体重の女性5例（標準体重の96.3±15.4%）に比しアソクピル°血中濃度（Cmax及び投与後12時間値）が約2倍となったが、体重あたりのアソクピル°の全身クリアランス及び分布容積をそれぞれ標準体重で補正した値は両者間に差がなかった。このような高度の肥満患者に本剤を投与する場合には、標準体重に基づいた用量で投与すべきとの報告有り。</p>
<p>メシル酸セロフィビル°(ピラセプト錠)</p>	<p>禁忌：臭化水素酸エトリン°を投与中の患者</p> <p>併用禁忌：臭化水素酸エトリン°（エトリン°の血中濃度が上昇）</p> <p>併用注意：アズスロマイシン°（アズスロマイシンの血中濃度が2倍に上昇する報告あり）</p> <p>その他の副作用：肝機能障害</p>

<p>尿素 (<math>^{13}\text{C}</math>) &lt; 散剤 &gt; (1-ピット)</p>	<p>副作用：血清 K 値の上昇</p> <p>妊・産・授乳婦等への投与：授乳中の婦人には、診断上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること（妊娠中及び授乳中の婦人への投与に関する安全性は確立していない）。</p> <p>小児等への投与：低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。</p> <p>診断上の注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判定基準；1-ピット服用後 20 分の <math>^{13}\text{C}</math>：2.5%以上を H.pylori 陽性と判定する。</li> <li>・ <math>^{13}\text{C}</math>-尿素呼気試験法における呼気中 <math>^{13}\text{CO}_2</math> の測定は、質量分析法又は同等の性能を有する分析法（赤外分光法等）で実施すること。また、質量分析法及び赤外分光法においては、呼気中の CO 濃度が 1%未満の場合には <math>^{13}\text{C}</math> 値の再現性が乏しくなることがあり、<math>^{13}\text{C}</math> 値の低値領域では判定に影響することがある。</li> <li>・ <math>^{13}\text{C}</math>-尿素呼気試験法の判定結果はオメプラゾール、ラソプラゾール、ラパゾール、Na 等の PPI、アモキシシリン、クラリスロマイシン、テトラサイクリン等の抗生物質、ヒスタミン製剤及び抗酸剤活性のあるイカト Na 等の服用中や中止直後では偽陰性になる可能性があるため注意。</li> <li>・ 1-ピットの第 Ⅰ相試験では約 1.8%（165 例中 3 例）の割合で偽陰性が生じたので、臨床症状から H.pylori 感染が示唆されるようであれば、別の検査法による判定結果を参考にすること。</li> <li>・ 胃切除を受けた患者では本剤の胃内滞留時間が短縮することにより、陰性と判定される可能性があるため注意。</li> <li>・ 無酸症の患者の場合及び Helicobacter heilmannii 等抗酸剤活性を有する細菌が胃内に生息する患者の場合、陽性と判定される可能性があるため注意。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<別紙 1 >

1. 新規常備医薬品 (合計 30 品目)

平成15年2月5日よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アドパフェロン	注	1,800 万 IU/V	19,289.0	山之内	Interferon alfacon-1 インターフェロン製剤(遺伝子組換え) (C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善) コンセンサス配列 抗ウイルス活性が高い
アルブミン 5%	注	12,500mg /250mL/V	6,267.0	アベントイス	Human serum albumin 血漿分画製剤 グロブリン等夾雑蛋白がほとんど含有されていない
エピネフリン0.1% シリジ	注	1mg/1mL /シリジ	197.0	テルモ	Epinephrine 心肺蘇生時の補助治療剤 シリジ製剤 投薬準備が容易 異物混入,細菌汚染のリスクを軽減
エラスターール	注	100mg/V	6,167.0	小野	Sivelestat Na hydrate 好中球エラスターゼ阻害剤 〔全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害〕 の改善 肺障害の速やかな改善 ・人工呼吸器の早期離脱 ・集中治療室滞在期間の短縮
ランドイオール	注	50mg/V	7,349.0	小野	Landiolol hydrochloride 1 選択的遮断剤 (手術時の頻脈性不整脈に対する緊急処置) 短時間作用型 即効性,調節性に優れ呼吸器系の副作用も少ない
ビアペンム	注	0.3g/V	2,056.0	明治	Biapenem カルバペネム系抗生物質 腎の DHP- に最も安定 DHP- による分解阻害剤等配合剤を必要としない
カゾテックス	錠	80mg	1,392.1	アストラゼネカ	Bicalutamide 抗悪性腫瘍剤(前立腺癌治療) 非ステロイド性抗アンドロゲン作用 1日1回投与でよい
ガチフロ	錠	100mg	150.2	杏林	Gatifloxacin hydrate ニューキノロン系合成抗菌剤 呼吸器感染症の主要起炎菌に強い抗菌力 光毒性を低減
ベクレメゾン 100 エアゾール	吸入	15mg/本 (100吸入)	4,408.8	大日本	Beclometasone dipropionate 吸入ステロイド喘息治療剤 肺内送達率が高い
パリビズマブ	注	50mg/V 100mg/V	83,196.0 165,449.0	ダイハット	Palivizumab(遺伝子組換え) 抗ウイルス剤 〔ハイリスク児におけるRSウイルス感染による〕 重篤な下気道疾患の発症抑制 ヒトモノクローナル抗体 RSウイルスタイプ A,B に対し中和活性 ウイルスの複製,増殖抑制

ダラシンT	ゲル	100mg /10g	60.5 (1g)	サトウ	Clindamycin phosphate 外用抗生物質製剤 (尋常性坐そう治療) 院内製剤との切り替え
デュロテップパッチ	貼付	2.5mg 5.0mg	3,618.6 6,803.0	協和 発酵	Fentanyl 経皮吸収型持続性癌疼痛鎮痛剤 3日毎の貼付で安定した効果を維持
ノボラピッド フレックスペン	注	300U /3mL/本	2,517.0	ノボ ノルディスク ファーマ	Insulin aspart(遺伝子組換え) インスリン製剤 ペン一体型製剤 超速効型 食直後血糖値の上昇を改善
ハルミコート 200 タービュハイラー	吸入	11.2mg/本	1,818.8	アストラ ゼネコ	Budesonide ドライパウダー吸入式ステロイド剤 新しい吸入器 添加物, 噴射剤を含有しない
ファンガード	注	50mg/V	7,618.0	藤沢	Micafungin Na キャンテン系抗真菌剤 細胞壁(1,3-β-D-グルカン)合成阻害 殺菌的作用(新規)
フルカリック 1号 2号 3号	注	903mL 1003mL 1103mL	1,506.0 1,602.0 1,805.0	テルモ	高カリウム輸液用・総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液 総合ビタミン配合 ビタミン未投与によるリスクを軽減
インターフェロン	注	960万U /V	11,683.0	日本 シエリング	Interferon-β1b(遺伝子組換え) インターフェロン製剤 (多発性硬化症治療) 国内初の適応 <オーファンドラッグ>
ヘネット	錠	2.5mg	161.1	武田	Sodium risedronate hydrate 骨粗鬆症治療剤 ビスフォスフォネート系: 強力な骨吸収抑制作用
ヘパリンNaロック 10シリンジ	注	100U /10mL /シリンジ	237.0	三菱ウエル ファーマ	Heparin Na 血液凝固阻止剤 ヘパリンロック用キット製剤 細菌感染, 異物混入のリスクを軽減
ミカルディス	Cap	20mg 40mg	101.1 193.8	山之内	Telmisartan 持続性 AT <sub>1</sub> 受容体拮抗剤 胆汁排泄型 腎障害患者に使用しやすい
リルテック	錠	50mg	1,859.7	アハソティス ファーマ	Riluzole 筋萎縮性側索硬化症用剤 グルタミン酸作動性神経におけるグルタミン酸の 伝達抑制 <オーファンドラッグ>
レキード	注	100mg/V	113,190.0	田辺	Infliximab(遺伝子組換え) クローン病治療剤(中等度~重度) 抗TNFモノクローナル抗体
レルパックス	錠	20mg (エトリアタン)	1,025.3	ファイザー	Eletriptan hydrobromide 片頭痛治療剤 5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体選択的作動
ロルカム	錠	4mg	29.9	大正	Lornoxicam オキシカム系非ステロイド性消炎鎮痛剤 短時間作用型
ワックスネート	液	250mg /5mL	34.8 (1mL)	ゼリア	Dioctyl Na sulfosuccinate 耳垢除去剤 院内製剤と切り替え

## 2. 剤形・規格追加医薬品 (合計 3 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
ジゴシン	錠	0.125mg	9.7	中外	Digoxin 心疾患治療剤(強心配糖体) 0.25mg 錠分割使用頻度の増加 ・分割による含量誤差 ・汚染の予防
タミフル	DS	30mg/g	288.3 (1g)	中外	Oseltamivir phosphate 抗ウイルス剤 (A・B型インフルエンザウイルス感染) 幼小児への使用可能
リボハス	錠	20mg	678.5	万有	Simvastatin HMG-CoA 還元酵素阻害剤 (高脂血症治療) 脂質低下不十分例に使用 副作用発現率は5mg と有意差なし

## 3. 切り替え医薬品 (合計 19 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効	切り替え薬
アーチスト	錠	2.5mg	36.6	第一	Carvedilol 遮断剤(慢性心不全治療) 慢性心不全に対し国内で初の 適応拡大	アーチスト錠 (20mg)
HMG テイゾー	注	150U/A (FSH)	3,027.0	帝国 臓器	Human menopausal gonadotrophin menotropins 下垂体性性腺刺激ホルモン剤 FSH: LH が約 1:1 視床下部性,下垂体性無月経に 優れた排卵誘発効果	ハーゴナル注 (150U)
ガスター-D	錠	20mg	73.4	山之内	Famotidine H <sub>2</sub> 受容体拮抗剤 (胃潰瘍, 十二指腸潰瘍治療) 口腔内崩壊錠 水なしで服用可	ガスター錠 (20mg)
カクロット	注	40mg/V	3,196.0	小野	Sodium ozagrel トロンボキサン合成酵素阻害剤 (脳血栓治療) 使用量から 40mg 製剤の方が 経済性に優れる	カクロット注 (20mg)
グランシリンジ 75 150 M300	注	75 μg 150 μg 300 μg	14,092.0 27,757.0 34,787.0	キリン	Filgrastim G-CSF 製剤 シリンジ一体型製剤	グラン注 (75 μg) (150 μg) (300 μg)
ゾーミック RM	錠	2.5mg	1059.9	アストラ ゼネカ	Zolmitriptan 片頭痛治療剤 5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動 口腔内速溶錠 水なしで服用可	ゾーミック錠 (2.5mg)
タケブロン OD	錠	15mg 30mg	147.8 258.0	武田	Lansoprazole プロトンポンプ阻害剤 (胃潰瘍, 十二指腸潰瘍治療) 口腔内崩壊錠 水なしで服用可	タケブロン Cap (15mg) (30mg)

フジオ 35	注	500mL/V	272.0	大塚	電解質輸液(維持液) フジオール 3号が通気針の必要な 容器に変更 汚染防止のためソフトバッグ製剤 へ	フジオール 3号
フルタイド 50 ディスカス 200 ディスカス	吸入	50 µg 200 µg (1 プリスター)	1,948.7 3,517.1 (60 プリスター)	グラクソ・ スミスクライン	Fluticasone propionate 吸入ステロイド喘息治療剤 60 回連続使用可能	フルタイド 10 ディスク (100 µg) (200 µg)
プロハンスシリンジ	注	13mL /シリンジ	12,171.0	イーザイ	Gadoteridol MRI用造影剤 用量調整時に経済的	プロハンス注 (15mL)
マグミット	錠	250mg 330mg	6.4 6.4	丸石	Magnesium oxide 制酸緩下剤 散剤と比較し服用しやすい	マグミット (0.5g) (0.67g)
ユービット	錠	100mg	3,357.0	大塚	Urea( <sup>13</sup> C) ヘリコクター・ピロリ感染診断用剤 水での溶解が不要 服用後の口腔内洗浄が不要	ユービット散 (100mg)
リスパダール	液	1mg/1mL	146.2 (1mL)	ヤンセン ファーマ	Risperidone 抗精神病剤 即効性 急性期に使用しやすい ドパミンD <sub>2</sub> 受容体拮抗剤と比較し 錐体外路系副作用が少ない	セレネース液
レンドルミン D	錠	0.25mg	36.0	日本 ヘーリン ガー	Brotizolam 睡眠導入剤 口腔内崩壊錠 水なしで服用可	レンドルミン錠 (0.25mg)

ガスター D 錠, フジオ 35 注, マグミット錠については事後報告のため  
既にオク可能

4. 削除医薬品 (合計 169 品目 <本表: 31 品目> + <別紙 2: 138 品目> )

商品名	剤形	規格	削除理由
アチスト	錠	20mg	アチスト錠(2.5mg)と切り替え・削除
アレビアチン細粒	細粒	970mg/g	製造中止 アレビアチン散(100mg/g)へ切り替え
ガスター	錠	20mg	ガスター D 錠(20mg)と切り替え・削除
カクワロッド	注	20mg/V	カクワロッド注(40mg/V)と切り替え・削除
カティアン	Cap	20mg	テュロテップパッチ(2.5mg),(5.0mg)と切り替え・削除
		30mg	
		60mg	
グラン	注	75 µg/A	グランシリンジ注(75 µg)と切り替え・削除
		150 µg/A	グランシリンジ注(150 µg)と切り替え・削除
		300 µg/A	グランシリンジ注(300 µg)と切り替え・削除
クリンダマイシンローション <院内製剤>	液	-	ダラシンTゲルと切り替え・削除
コジネイト	注	500IU/V	製造中止 コジネイト FS(500IU/V)へ切り替え
耳垢水 <院内製剤>	液	-	ワックスネット液(250mg/5mL)と切り替え・削除
スハラ	錠	100mg	ガチワロ錠(100mg)と切り替え・削除
セレネース	液	2mg/mL	リスパダール液(1mg/mL)と切り替え・削除
ゾーミック	錠	2.5mg	ゾーミック RM 錠(2.5mg)と切り替え・削除

タケロン	Cap	15mg	タケロン OD (15mg) と切り替え・削除
		30mg	タケロン OD (30mg) と切り替え・削除
ニトログリシッド Na < 院内製剤 >	注	10mg/V	調製中止 ニトロ注 (30mg/10mL/A) 使用
ハゴナル	注	150U/A	販売中止 HMG テイゾ-注と切り替え・削除
フィジオール 3号	注	500mL/V	フィジオ 35 と切り替え・削除
フェニルアラニン除去ミルク	缶	-	販売中止
プラスマネート・カッター	注	250mL/V	アルブミン-5% (250mL) と切り替え・削除
フルタイドロタディスク	吸入	100 µg	フルタイドディスク (50 µg) と切り替え・削除
		200 µg	フルタイドディスク (200 µg) と切り替え・削除
プロハンス	注	15mL/V	プロハンスシリンジ (13mL) と切り替え・削除
ヘコタイド 100 インヘラー	吸入	4mL/本	キュパール 100 エアゾールと切り替え・削除
ユニカリック L	注	1,000mL	フルカリック 1 号と切り替え・削除
ユニカリック N	注	1,000mL	フルカリック 2 号と切り替え・削除
ユービット	散	100mg	ユービット錠 (100mg) と切り替え・削除
レンドルミン	錠	0.25mg	レンドルミン D 錠 (0.25mg) と切り替え・削除

HF頁	コード	薬品名	剤形	規格	薬効	代替薬 [同成分, 投与経路の違う同成分]
10	トミ01	トミロン	錠	100mg	セフェム系抗生物質<第三世代>	フロモックス錠(100mg), パナン錠(100mg)
13	タケ61	タケスリン	注	0.5g/V	-ラクタム系抗生物質	モダシン注(1g/V), スルペラゾン注(1g/V)
17	ケン62	ゲンタシン	注	40mg/1mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	ゲンタシン注(10mg/1mL/A, 60mg/1.5mL/A)
18	トブラ61	トブラシン	注	10mg/1mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	トブラシン注(60mg/1.5mL/A)
18	アミ62	アミカシン	注	200mg/1mL/A	アミノグリコシド系抗生物質	アミカシン(100mg/1mL/A)
20	ダラ01	ダラシン	cap	150mg	リンコマイシン系抗生物質	ダラシンS注(600mg/4mL/A)
21	メロ01	メガロシン	錠	100mg	ニューキノロン系抗生物質	クラビット錠(100mg), オゼックス錠(150mg)
21	シロ01	シプロキサ	錠	200mg	ニューキノロン系抗生物質	クラビット錠(100mg), オゼックス錠(150mg)
36	フト01	フトラフル	cap	200mg	抗悪性腫瘍剤<代謝拮抗>	UFTcap(100mg)
48	フィル62	フィルデシン	注	3mg/V	抗悪性腫瘍剤<植物性>	フィルデシン注(1mg/V)
51	リュ62	リュープリン	注	1.88mg/V	ホルモン療法剤	リュープリン・キット注(1.88mg/シリンジ)
54	ピシ62	ピシバニール	注	0.5KE/V	抗悪性腫瘍剤<その他>	ピシバニール注(0.2KE/V, 1KE/V, 5KE/V)
59	ロカ02	ロカルトロール	cap	0.5μg	ビタミンD剤	ロカルトロールcap(0.25μg)
61	フラ62	フラビタン	注	20mg/2mL/A	ビタミンB <sub>2</sub> 剤	M.V.I注, フラビタン錠(5mg)
66	ユベ61	ユベラ	注	100mg/2mL/A	ビタミンE剤	ユベラ錠(50mg)
68	ビタ01	ビタノイリン	cap	-	ビタミンB複合剤	ノイロピタン錠
68	ネオ61	ネオラミン・スリーピー	注	10mL	ビタミンB複合剤	ビタメジン注
70	ビタ61	ビタミロ12	注	-	総合ビタミン剤	オーツカMV注, ネオラミンマルチ注
70	マル61	マルタミン	注	-	総合ビタミン剤	ソービタ注, ビタジェクト注
73	サー61	サーモトニン	注	10U/0.5mL/A	甲状腺, 副甲状腺ホルモン剤	エルシトニン注(20U/1mL/A)
75	ソル63	ソル・コーテフ	注	500mg/V	副腎皮質ホルモン剤	サクシゾン注(500mg/V)
84	ホセ61	ボセルモンデポー	注	1mL/A	男性・女性混合ホルモン剤	-
88	エチ68	HMG「日研」	注	75U/V	下垂体性性腺刺激ホルモン剤	フェルティノームP注(75U/A)
92	エバ01	エバステル	錠	5mg	抗ヒスタミン剤	タベジール錠(1mg), ジルテック錠(10mg)
96	レミ01	レミカット	cap	1mg	抗アレルギー剤<塩基性>	アレジオン錠(20mg)
99	ヨウ01	ヨウレチン	錠	50μg	無機質製剤	-
111	レフ02	レフトーゼ	錠	30mg	酵素製剤	ノイチーム錠(30mg)
114	ジメ01	ジメリン	錠	500mg	糖尿病治療剤<SU剤>	オイグルコン錠(1.25mg, 2.5mg), アマリール錠
116	プレ02	プレディニン	錠	50mg	免疫抑制剤	プレディニン錠(25mg)
127	アル63	アルブミン	注	20%20mL/V	体液及び体液成分製剤	アルブミン注(20%50mL/V)
128	ケイ01	ケイキサレート	末	5g/包	高カリウム血症治療剤	カリメート末(5g/包), アーガメイトゼリー(5g/個)
130	クリ01	クリニミール	末	-	経腸栄養剤	エンシュアリキッド
130	ハモ02	ハーモニックM	液	250mL	経腸栄養剤	エンシュアリキッド
133	マツ61	マツアミン	注	500mL	総合アミノ酸輸液	アミカリック注(500mL), アミノフリード注
135	リン61	リンゲル液	注	500mL	電解質製剤	ソリタ注(500mL), ヴィーンF注(500mL)
136	ケイ61	KN補液1A	注	500mL	電解質製剤	ソリタT1号注(500mL)
136	フル64	フルクトラクト	注	500mL	電解質製剤	アクチット注(500mL), ソリタT3号注(500mL)
139	トリ61	トリパレン1号	注	600mL	糖・電解質液	アミノトリパ1号, 2号注

139	トリハ64	トリパレン2号	注	1,200mL	糖・電解質液	アミノトリパ1号, 2号注
139	ハイカ61	ハイカリック1号	注	700mL	糖・電解質液	ユニカリックN, L注
139	ハイカ62	ハイカリック2号	注	700mL	糖・電解質液	ユニカリックN, L注
139	ハイカ63	ハイカリック3号	注	700mL	糖・電解質液	ユニカリックN, L注
145	アトナ61	アドナ	注	10mg/2mL/A	止血剤	アドナ注(25mg/5mL/A)
153	フイロ01	フェロ・グラデュメット	錠	105mg(Fe)	鉄欠乏性貧血治療剤	フェロミア錠(50mg)
157	エスホ61	エスポー	注	3,000U/V	血球減少予防・治療剤	エスポー注(750U/A), エポジン注(3,000U/V)
158	ノイト64	ノイトロジン	注	50µg/V	血球減少予防・治療剤	ノイトロジン注(100µg/V)
169	ポンタ01	ポンタール	cap	250mg	抗炎症剤<酸性>	ポンタール細粒(985mg/g)
169	ミクリ01	ミグリステン	錠	20mg	片頭痛・緊張性頭痛治療剤	ミグシス錠(5mg), ジビデルゴット錠(1mg)
170	フルカ01	フルカム	cap	27mg	抗炎症剤<酸性>	モービックcap(10mg)
170	レリ701	レリフェン	錠	400mg	抗炎症剤<酸性>	ハイペン錠(200mg)
174	オクル01	オークル	錠	100mg	その他のリウマチ・関節症治療剤	リマチル錠(100mg), アザルフィジンEN錠(500mg)
176	イソソ61	イソゾール	注	0.5g/A	全身麻酔剤	ラボナール注(500mg/A)
189	テハケ01	デパケン	錠	200mg	抗てんかん剤	デパケンR錠(200mg)
203	クロ702	クロフェクトン	顆粒	100mg/g	抗精神病剤<その他>	-
203	クロ701	クロフェクトン	錠	25mg	抗精神病剤<その他>	-
205	クレミ01	クレミン	錠	25mg	抗精神病剤<その他>	-
210	アタラ03	アタラックス	錠	10mg	その他の精神安定剤	アタラックスPcap(25mg)
216	ルシト01	ルシドリール	錠	100mg	脳機能・代謝調整剤	-
220	キシロ69	キシロカイン	注	2%100mL/V	局所麻酔剤	リドカイン注(2%20mL/V)
220	キシロ74	キシロカイン・エピレナミン	注	2%20mL/V	局所麻酔剤	キシロカイン・エピレナミン注(1%20mL/V)
227	ハイセ01	ハイゼット	錠	50mg	自律神経調整剤	ハイゼット細粒(200mg/g)
228	ムスカ01	ムスカルムS	錠	50mg	中枢性骨格筋弛緩剤	テルネリン錠(1mg), ミオナール錠(50mg)
238	カルク01	カルゲート	錠	5mg	強心剤	タナドーパ顆粒(750mg/g)
239	ミリス62	ミリスロール	注	5mg/10mL/A	虚血性心疾患治療剤<亜硝酸>	ミリスロール注(1mg/2mL/A, 25mg/50mL/V)
241	ニトロ65	ニトロール	注	100mg/100mL/V	虚血性心疾患治療剤<亜硝酸>	ニトロール注(5mg/10mL/A, 50mg/50mL/A)
241	ミリス42	ミリステープ	貼付	5mg/枚	虚血性心疾患治療剤<亜硝酸>	ニトロダームTTS(25mg/枚)
244	シベノ02	シベノール	cap	100mg	不整脈治療剤<a群>	シベノール錠(100mg), リスモダンR錠(150mg)
246	リスモ01	リスモダン	cap	100mg	不整脈治療剤<a群>	リスモダンR錠(150mg)
247	タンボ01	タンボコール	錠	50mg	不整脈治療剤<c群>	タンボコール錠(100mg)
250	ハイミ01	バイミカード	錠	5mg	カルシウム拮抗剤	バイロテンシン錠(5mg)
250	ヒホカ01	ヒポカ	cap	15mg	カルシウム拮抗剤	アムロジン錠(5mg), アダラートCR錠(20mg)
250	ムノハ01	ムノパール	錠	5mg	カルシウム拮抗剤	コニール錠(4mg)
252	セパミ02	セパミットR	cap	10mg	カルシウム拮抗剤	アダラートL錠(20mg)
253	ヘルハ01	ヘルベッサー	錠	30mg	カルシウム拮抗剤	ヘルベッサーRcap(100mg)
253	ヘルシ01	ベルジピン	錠	20mg	カルシウム拮抗剤	ベルジピンLacap(40mg)
256	ケルロ01	ケルロング	錠	5mg	-遮断剤<選択性>	ケルロング錠(10mg)
257	ミケラ01	ミケラン	錠	5mg	-遮断剤	セロケン錠(20mg)

258	ハイハ02	ハイバジール	錠	6mg	-遮断剤	アーチスト錠(10mg)
259	ハソメ02	バソメット	錠	1.0mg	-遮断剤	バソメット錠(0.5mg)
264	コナン01	コナン	錠	10mg	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	レニベース錠(5mg), タナトリル錠(5mg)
266	アテカ01	アデカット	錠	30mg	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	レニベース錠(5mg), タナトリル錠(5mg)
267	セタ702	セタプリル	錠	25mg	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	カプトリルR cap(18.75mg)
269	ワイテ01	ワイテンス	錠	2mg	降圧剤<その他>	カタプレス錠(0.075mg)
272	エラス01	エラスチーム	錠	1,800U	高脂血症治療剤<その他>	-
272	シソレ01	シンレスタールS	細粒	500mg/g	高脂血症治療剤<その他>	ロレルコ錠(250mg)
275	テフ161	デフィブラーゼ	注	10U/1mL/A	末梢血管拡張・循環改善剤	ノバスタン注(10mg/V)
281	ハロテ01	ペロテック	錠	2.5mg	鎮咳・喘息用剤<-刺激>	メプチン錠(50mg), スピロペント錠(10μg)
282	アトツ01	アトック	錠	40μg	鎮咳・喘息用剤<-刺激>	メプチン錠(50mg), スピロペント錠(10μg)
283	ハラチ01	ベラチン	DS	1mg/g	鎮咳・喘息用剤<-刺激>	アトックD.S.(40μg/g), ホクナリンテープ(2mg)
287	チスタ01	チスタニン	錠	100mg	去痰剤	ムコダイン錠(250mg)
289	サルタ42	サルタノール	吸入	13.5mL	鎮咳・喘息用剤<-刺激>	アイロミール(8.9g/缶)
290	アトロ42	アトロベント	吸入	7mL	鎮咳・喘息用剤<吸入コリン>	テルシガンエロゾル(5mL)
294	タフマ02	タフマックE	顆粒	-	消炎酵素剤	タフマックEcap, ベリチーム顆粒
295	ハリチ01	ベリチーム	cap	-	消炎酵素剤	ベリチーム顆粒, タフマックEcap
297	アルミ01	アルミゲル	細粒	-	制酸剤	アルサルミン細粒
303	ナホハ01	ナボバン	cap	5mg	制吐剤<5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗>	カイトリル錠(1mg), ナゼアOD錠(0.1mg)
304	コラン01	コランチル	顆粒	1g/包	潰瘍治療剤<抗コリン性>	メサフィリン末
305	ファイ01	ファイナリンG	散	-	潰瘍治療剤<抗コリン性>	メサフィリン末
306	アシノ02	アシノン	cap	75mg	潰瘍治療剤<H <sub>2</sub> 受容体拮抗>	アシノンcap(150mg)
307	アルタ61	アルタット	注	75mg/A	潰瘍治療剤<H <sub>2</sub> 受容体拮抗>	ガスター注(20mg/A), アルタットcap(75mg)
309	ハリエ02	パリエット	錠	20mg	潰瘍治療剤<プロトンポンプ阻害>	オメプラール錠(20mg), タケプロンcap(30mg)
310	カムリ01	カムリード	cap	25μg	潰瘍治療剤<その他>	ロノック錠(2.5μg)
311	キャハ02	キャベジンUコーワ	散	-	潰瘍治療剤<その他>	アルサルミン細粒
316	アホヒ01	アホビス	cap	25mg	消化管機能亢進剤	ベサコリン散, セレキノ錠(100mg)
320	アミカ41	[院]アミカシン	点耳	1% 5mL	耳疾患局所作用剤	タリビット点耳液(0.3%5mL)
320	アミカ42	[院]アミカシン	点耳	2% 5mL	耳疾患局所作用剤	タリビット点耳液(0.3%5mL)
322	コルタ41	コールタイジン	点鼻	15mL	鼻腔局所作用剤	ナシピン点鼻液(0.05%10mL)
323	インタ43	インタール	点鼻	2% 9.5mL	鼻腔局所作用剤	リボスチン点鼻液(15mL), ザジテン点鼻液(8mL)
323	リノコ41	リノコート(鼻炎用)	cap	-	鼻腔局所作用剤<副腎皮質ホルモン>	フルナーゼ点鼻液(4mL), シナクリン点鼻液(9mL)
324	フクホ41	複方ヨード・グリセリン	液	-	含漱剤	イソジンガーグル(30mL, 250mL)
326	ケイテ41	[院]KDP液	液	10mL	口腔・咽頭塗布剤	-
329	サンピ44	サンピロ	点眼	3% 5mL	縮瞳剤	サンピロ点眼液(2%5mL)
338	コント42	コンドロロン	点眼	3% 5mL	その他の点眼剤	コンドロロン点眼液(1%5mL)
345	オキナ42	オキナゾールV	膣錠	600mg	女性性器疾患治療剤	フロリード膣錠(100mg)
345	プロス03	プロスタールL	錠	50mg	前立腺疾患治療剤	プロスタール錠(25mg)
352	フルメ43	フルメタ	軟膏	5g	副腎皮質ホルモン<Very Strong>	マイザー軟膏(5g), アンテベート軟膏(5g)

354	リソテ56	リンデロンDP	ゾル	10g	副腎皮質ホルモン<Very Strong>	マイザー軟膏(5g), ダイアコート軟膏(5g)
355	メサテ41	メサデルム	クリーム	5g	副腎皮質ホルモン<Very Strong>	トプシムクリーム(5g), ダイアコート軟膏(5g)
355	ホアラ41	ボアラ	軟膏	5g	副腎皮質ホルモン<Strong>	リンデロンV軟膏(5g)
356	リソテ58	リンデロンV	ローション	5mL	副腎皮質ホルモン<Strong>	リンデロンVGローション(5mL)
358	リソテ42	リドメックス	ローション	5mL	副腎皮質ホルモン<Strong>	リンデロンVGローション(5mL)
360	レスタ42	強カレストアミンコチゾン	軟膏	10g	副腎皮質ホルモン配合剤	オイラックスH軟膏(5g), クロマイP軟膏(25g)
362	テラコ42	テラ・コートリル	軟膏	25g	副腎皮質ホルモン配合剤	リンデロンVG軟膏(30g)
363	インテ41	インテバン	液	50mL	非ステロイド性消炎鎮痛剤	インテバンクリーム(50g), ナパゲルンローション
363	トバル41	トバルジック	軟膏	10g	非ステロイド性消炎鎮痛剤	アンダーム軟膏(10g)
367	ニソラ41	ニゾラル	クリーム	10g	白癬治療剤	アスタットクリーム(10g), マイコスボールクリーム
369	メンタ41	メンタックス	クリーム	10g	白癬治療剤	ラミシールクリーム(10g), ゼフナートクリーム
371	オルセ41	オルセノン	軟膏	30g	皮膚欠損治療剤	フィブラストスプレー(500μg), アクトシン軟膏
372	フラン41	フランセチンTパウダー	散布剤	10g	皮膚欠損治療剤	-
373	アセラ41	[院]アゼライン酸	クリーム	1% 10g	皮膚悪性腫瘍治療剤	-
386	コジネ63	コージネイト	注	250U/V	血液製剤<凝固因子製剤>	コージネイトFS注(500U/V)
390	スミフ64	スミフェロンDS	注	600万U/シリンジ	インターフェロン	スミフェロンDS注(300万U/シリンジ)
400	オロナ41	オロナインK	液	10% 500ml/瓶	殺菌消毒剤	-
405	ハラア61	ハラアミノ馬尿酸ソーダ	注	10%20mL/A	診断用剤	インジゴカルミン注(20mg/5mL/A)
411	オブチ64	オブチレイ350	注	20mL/V	X線造影剤<ヨード>	オブチレイ注350(100mL/V)
413	イオパ66	イオパミロン370	注	100mL/V	X線造影剤<ヨード>	イオパミロン370(100mL/シリンジ)
433	ネリフ41	ネリプロクト	軟膏	2g	痔疾用剤	強力ホステラ軟膏(2g), フロフトセニール軟膏(2g)
433	ネリフ42	ネリプロクト	坐剤	-	痔疾用剤	ボラザG坐剤

## 吸入用剤

プロピオン酸フルチカゾン fluticasone propionate フルタイド Flutide (GSK) ディス加：50 µg/1 プリスター 薬価 1948.7 /60 プリスター ディス加：200 µg/1 プリスター 3517.1 /60 プリスター	<b>【効】</b> 気管支喘息 <b>【用】</b> 1回 100 µg を 1日 2回 吸入 1日最大投与量：800 µg 小児には 1回 50 µg を 1日 2回 吸入 1日最大投与量：200 µg
<b>【禁】</b> 有効な抗菌剤の存在しない感染症 深在性真菌症 本剤成分過敏症 <b>【原禁】</b> 結核性疾患 呼吸器感染症 高血圧 <b>【重大な副作用】</b> アナフィラキシー様症状 <b>【備考】</b> 60回連続使用可能	

## MRI用造影剤

ガドテリドール gadoteridol プロハンス Prohance (エーザイ) 注：13mL/ビン 薬価 12171	<b>【効】</b> 磁気共鳴コンピュータ断層撮影における次の造影：脳・脊髄造影 躯幹部・四肢造影 <b>【用】</b> 0.2 mL/kg を静注 腎臓を対象とする場合：0.1 mL/kg 静注 転移性脳腫瘍が疑われる患者：0.2mL/kg 初回投与後、腫瘍が検出されないか、また検出されても造影効果が不十分であった場合には、初回投与後 30 分以内に 0.2mL/kg を追加投与できる。
<b>【警】</b> 脳・脊髄腔内には投与しない <b>【禁】</b> 本剤投与による重篤な副作用 <b>【原禁】</b> 極度の一般状態悪化 気管支喘息 重篤な腎障害 初回投与時に副作用がみられ、追加投与を行う必要がある患者 <b>【重大な副作用】</b> ショック アナフィラキシー様症状 痙攣発作 <b>【備考】</b> 非イオン性	

## 片頭痛治療剤

ゴルミトリプタン zolmitriptan ゴーミッグ Zomig (アストラゼネカ) RM錠〔劇〕: 2.5mg 薬価 1059.9	<b>【効】</b> 片頭痛 <b>【用】</b> 1回 2.5mg を片頭痛の頭痛発現時に経口投与 効果不十分な場合: 2時間以上あけて追加投与 2.5mg の経口投与で効果不十分な場合: 次回片頭痛発現時から 5mg 経口投与可能 1日総投与量: 10mg 以内
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 心筋梗塞の既往 虚血性心疾患又はその症状・兆候 異型狭心症(冠動脈攣縮) 脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往 末梢血管障害 コントロールされていない高血圧症 エルゴタミン エルゴタミン誘導体含有製剤 他の 5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬 MAO 阻害剤(投与中及び投与中止 2週間以内) <b>【重大な副作用】</b> アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状 虚血性心疾患様症状(不整脈、狭心症、心筋梗塞を含む) 頻脈(WPW症候群における) てんかん様発作 <b>【備考】</b> 5-HT <sub>1B/1D</sub> 受容体選択的作用薬 脂溶性 口腔内速溶錠	

## 吸入用剤

ブデソニド budesonide パルミコート 200 タービュヘイラー Pulmicort200turbuhaler (アストラゼネカ) 吸入: 11.2mg/本 薬価 1818.8	<b>【効】</b> 気管支喘息 <b>【用】</b> 1回 100~400 µg を 1日 2回吸入投与 1日最高量: 1600 µg
<b>【禁】</b> 有効な抗菌剤の存在しない感染症 深在性真菌症 本剤成分過敏症 <b>【原禁】</b> 結核性疾患 呼吸器感染症 <b>【備考】</b> ドライパウダー吸入式ステロイド剤	

## 体液及び体液成分製剤

人血清アルブミン human serum albumin アルブミナー Albuminar (アベンティス) 注：5% 250mL/V 薬価 6267	<b>【効】</b> アルブミンの喪失（熱傷、ネフローゼ症候群など）及びアルブミン合成低下（肝硬変症など）による低アルブミン血症、出血性ショック <b>【用】</b> 1回 100～250mL（人血清アルブミンとして5～12.5g）を緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射
<b>【禁】</b> 本剤成分によるショックの既往 <b>【原禁】</b> 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> ショック	

## 脳機能・代謝調整剤

リルゾール riluzole リルテック Rilutek (アベンティスファーマ) 錠：50mg 薬価 1859.7	<b>【効】</b> 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の治療 筋萎縮性側索硬化症（ALS）の病勢進展の抑制 <b>【用】</b> 1回1錠、1日2回朝夕食前（1日量100mg）
<b>【禁】</b> 重篤な肝機能障害 本剤又は本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 <b>【重大な副作用】</b> 重篤な好中球減少 間質性肺炎 <b>【備考】</b> オーフアンドラッグ グルタミン酸作動性神経におけるグルタミン酸の伝達抑制	

## 化膿性疾患外用剤

リン酸クリンダマイシン clindamycin phosphate ダラシン Dalacin (サトウ) Tゲル：100mg/10g 薬価 60.5/g	<b>【効】</b> 尋常性ざ瘡（多発性炎症性皮疹を有するもの） <b>【用】</b> 1日2回、洗顔後、患部に塗布
<b>【禁】</b> 本剤成分又はリンコマイシン系抗生物質過敏症 <b>【重大な副作用】</b> 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎	

## 耳疾患局所作用薬

ジオクチルソジウムスルホサクシネート dioctyl sodium sulfosuccinate ワックスネート Waxnate (ゼリア) 液：250mg/5mL 薬価 174/5mL	<b>【効】</b> 耳垢の除去 <b>【用】</b> 綿棒等で外耳へ塗布して使用 除去困難な場合：数滴点耳後5分～20分後に微温湯（37℃）にて洗浄 高度の耳垢栓塞：1日3回、1～2日連続点耳後、微温湯（37℃）洗浄
<b>【禁】</b> 鼓膜穿孔	

## HMG - CoA還元酵素阻害剤

シンバスタチン simvastatin リポバス Lipovas (萬有) 錠：5mg 薬価 182.5 錠：20mg 678.5	<b>【効】</b> 高脂血症 家族性高コレステロール血症 <b>【用】</b> 1日1回5mg LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合：1日20mgまで増量可
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 重篤な肝障害 妊娠又はその可能性のある婦人 授乳婦 イトラコナゾール ミコナゾール <b>【原禁】</b> 腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者への本剤とフィブレート系薬剤の併用（10mg/日を超えないこと） <b>【重大な副作用】</b> 横紋筋融解症 ミオパシー 肝炎 肝機能障害 黄疸 末梢神経障害 血小板減少 過敏症候群 <b>【備考】</b> 脂溶性	

## 抗ウイルス剤

<p>パリーブズマブ (遺伝子組換え) palivizumab (genetical recombination) シナジス Synagis (ダイナボット) 注: 50mg/V 薬価 83196 注: 100mg/V 165449</p>	<p>【効】次の新生児、乳児および幼児におけるRSウイルス感染による重篤な下気道疾患の発症抑制 RSウイルス感染流行初期において 在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児および乳児 在胎期間29~35週の早産で、6カ月齢以下の新生児および乳児 過去6カ月以内に気管支肺異形成症(BPD)の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児および幼児 【用】体重1kgあたり15mgをRSウイルス流行期を通して月1回筋肉内投与 注射量が1mLを超える場合には分割投与</p>
<p>【禁】本剤成分過敏症【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 【備考】ヒト化モノクローナル抗体 RSウイルスタイプA、Bに対し中和活性</p>	

## その他の抗精神病薬

<p>リスペリドン risperidone リスパダール Risperdal (ヤンセンファーマ) 細粒〔劇〕: 10mg/g 薬価 444 錠〔劇〕: 1mg 49.2 液〔劇〕: 1mg/1mL 146.2/mL</p>	<p>【効】精神分裂病 【用】1回1mgを1日2回から始め、徐々に増量 維持量は通常1日2~6mgを原則として2回に分服 1日量は12mgを超えない</p>
<p>【禁】昏睡状態 バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下 エピネフリン 本剤成分過敏症【重大な副作用】Syndrome malin(悪性症候群) 遅発性ジスキネジア 麻痺性イレウス 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH) 肝機能障害 黄疸 横紋筋融解症 不整脈 脳血管障害【備考】セロトニン・ドパミンアンタゴニスト(SDA)</p>	

## 血管収縮剤

<p>エピネフリン epinephrine        エピクイック Epiquick (テルモ)        注〔劇〕: 1mg/1mL/シリンジ 薬価 197</p>	<p>【効】気管支喘息、百日咳に基づく気管支痙攣の緩解 各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療 心停止の補助治療        【用】1回 0.2～1mg (0.2～1mL) を皮下注又は筋注 蘇生などの緊急時: 1回 0.25mg (0.25mL) を超えない量を生理食塩水などで希釈し、できるだけゆっくりと静注。必要があれば5～15分ごとにくりかえす。</p>
<p>【禁】ハロタン等のハロゲン含有吸入麻酔薬 ブチロフェノン系・フェノチアジン系等の抗精神病薬 遮断薬 イソプロテレノール等のカテコールアミン製剤、アドレナリン作動薬(ただし、蘇生時の緊急時はこの限りでない。) 狭隅角や前房が浅いなどの眼圧上昇の素因のある患者(点眼・結膜下注射使用時: 適応外) 【原禁】本剤過敏症 交感神経作動薬過敏反応 動脈硬化症 甲状腺機能亢進症 糖尿病 心室生頻拍等の重症不整脈 精神神経症 コカイン中毒 【重大な副作用】肺水腫(初期症状: 血圧異常上昇) 呼吸困難 心停止(初期症状: 頻脈、不整脈、心悸亢進 胸内苦悶)</p>	

## ニューキノロン系

<p>ガチフロキサシン水和物 gatifloxacin hydrate        ガチフロ Gatiflo (杏林)        錠: 100mg 薬価 150.2</p>	<p>【用】1回 200mg を1日2回経口投与</p>
<p>【禁】本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 小児等【重大な副作用】低血糖 高血糖 痙攣 ショック アナフィラキシー様症状(呼吸困難、浮腫、蕁麻疹等) 心室性頻拍(Torsades de pointesを含む) QTc延長 急性腎不全 錯乱、幻覚等の精神症状 肝機能障害 黄疸 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 横紋筋融解症(急激な腎機能悪化を伴う場合がある) アキレス腱炎 腱断裂等の腱障害【備考】ニューキノロン系合成抗菌剤</p>	

片頭痛治療剤

<p>臭化水素酸エレクトリプタン eletriptan hydrobromide レルパックス Relpax (ファイザー) 錠〔劇〕: 20mg 薬価 1025.3</p>	<p>【効】片頭痛 【用】1回 20mg を片頭痛の頭痛発現時に経口投与 効果不十分な場合:2時間以上あけて追加投与 20mg の経口投与で効果不十分な場合:次回片頭痛発現時から 40mg 経口投与可能 1日総投与量:40mg 以内</p>
<p>【禁】本剤成分過敏症 心筋梗塞の既往 虚血性心疾患又はその症状・兆候 異型狭心症(冠動脈攣縮) 脳血管障害や一過性脳虚血発作の既往 末梢血管障害 コントロールされていない高血圧症 重度の肝機能障害 エルゴタミンエルゴタミン誘導体含有製剤 他の 5-HT<sub>1B/1D</sub> 受容体作動薬 HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビル、硫酸インジナビルエタノール付加物、メシル酸ネルフィナビル)【重大な副作用】アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状 虚血性心疾患様症状(不整脈、狭心症、心筋梗塞を含む) 頻脈(WPW 症候群における) てんかん様発作 【備考】5-HT<sub>1B/1D</sub> 受容体選択的作用薬</p>	

制酸剤

<p>酸化マグネシウム magnesium oxide マグミット Magmitt (丸石) 錠: 250mg 薬価 6.4 錠: 330mg 6.4</p>	<p>【効】(1)次の疾患における制酸作用と症状の改善:胃・十二指腸潰瘍,胃炎(急・慢性胃炎,薬剤性胃炎を含む),上部消化管機能異常(神経性食思不振,いわゆる胃下垂症,胃酸過多症を含む) (2)便秘症 (3)尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防 【用】(1)1日 0.5~1g を数回に分服 (2)1日 2g を食前又は食後 3回に分服,又は就寝前に 1回服用 (3)1日 0.2~0.6g を多量の水と共に服用</p>
<p>【備考】塩類下剤</p>	

## その他の麻薬

フェンタニル fentanyl デュロテップ Durotep (協和発酵) パッチ〔麻〕〔劇〕: 2.5mg 薬価 3618.6 パッチ〔麻〕〔劇〕: 5mg 6803	<b>【効】</b> 激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛 <b>【用】</b> 胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、3日毎(約72時間)に貼り替えて使用(モルヒネ製剤から切り替えて使用)
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> 依存性 呼吸抑制 <b>【備考】</b> 経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤	

## 抗凝固剤

ヘパリン Na heparin sodium ヘパリン Na ロック Heparin Na Lock (三菱ウェルファーマ) 注: 100U/10mL/シリンジ 薬価 237	<b>【効】</b> 静脈内留置ルート内の血液凝固の防止 <b>【用】</b> 静脈内留置ルート内を充填するのに十分な量を注入
<b>【原禁】</b> 出血している患者 出血する可能性のある患者 重篤な肝障害 重篤な腎障害 中枢神経系の手術又は外傷後日の浅い患者 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> ショック 出血 血小板減少 <b>【備考】</b> ヘパリンロック用キット製剤	

## 診断用薬

尿素 ( <sup>13</sup> C) urea ( <sup>13</sup> C) ユービット Ubit (大塚) 錠: 100mg 薬価 3357	<b>【効】</b> ヘリコバクター・ピロリの感染診断 <b>【用】</b> 100mg(1錠)を空腹時に経口投与
<b>【備考】</b> H.pylori 菌が尿素をアンモニアと二酸化炭素に分解することを利用	

## インターフェロン類

インターフェロンアルファコン-1 (遺伝子組換え) interferon alfacon-1 (genetical recombination) アドバフェロン Advaferon (山之内) 注〔劇〕: 1800万 IU/V 薬価 19289	<b>【効】</b> C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善 <b>【用】</b> 1日1回1200~1800万IUを連日又は週3回皮下投与
<b>【警】</b> 間質性肺炎、自殺企図があらわれることがあるので、使用上の注意に十分留意し、患者に対し副作用発現の可能性について十分説明すること。 <b>【禁】</b> 本剤又は他のインターフェロン製剤過敏症 ワクチン等生物学的製剤過敏症 小柴胡湯 自己免疫性肝炎 <b>【重大な副作用】</b> 抑うつ 自殺観念 自殺企図 糖尿病 甲状腺機能亢進並びに低下の発症又は悪化 乾癬の発症又は悪化 重篤な肝障害、自己免疫性肝炎の発症又は悪化 高度の白血球減少(2000/mm <sup>3</sup> 未満)・血小板数減少(50000/mm <sup>3</sup> 未満) 心不全 心筋梗塞 意識喪失 興奮 せん妄 振戦 痙攣 意識障害 錯乱 失神 幻覚・妄想 末梢神経障害 <b>【備考】</b> コンセンサス配列 抗ウイルス活性が高い	

## アンジオテンシン 受容体拮抗薬

テルミサルタン telmisartan ミカルデイス Micardis (山之内) Cap: 20mg 薬価 101.1 Cap: 40mg 193.8	<b>【効】</b> 高血圧症 <b>【用】</b> 40mgを1日1回経口投与(1日20mgから投与開始し漸次増量) 1日最大投与量: 80mg
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 胆汁の分泌が極めて悪い患者 重篤な肝障害 <b>【重大な副作用】</b> 血管浮腫 高K血症 腎機能障害 失神・意識喪失 肝機能障害 黄疸 <b>【備考】</b> 持続性AT <sub>1</sub> 受容体拮抗剤 胆汁排泄型	

H<sub>2</sub>受容体拮抗薬

ファモチジン famotidine ガスター Gaster (山之内) D錠：10mg 薬価 41.6 D錠：20mg 73.4 注：20mg/A 403	<b>【効】</b> [内](1)胃潰瘍,十二指腸潰瘍,吻合部潰瘍,上部消化管出血(消化性潰瘍,急性ストレス潰瘍,出血性胃炎による),逆流性食道炎,Zollinger-Ellison 症候群 (2)次の疾患の胃粘膜病変(びらん,出血,発赤,浮腫)の改善:急性胃炎,慢性胃炎の急性増悪期 <b>【注】</b> (1)上部消化管出血(消化性潰瘍,急性ストレス潰瘍,出血性胃炎による),Zollinger-Ellison 症候群 (2)侵襲ストレス(手術後に集中管理を必要とする大手術,集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷)による上部消化管出血の抑制 (3)麻酔前投薬 <b>【用】</b> [内](1)1日40mgを1回(就寝前)~2回(朝食後,夕食後又は就寝前)に分服 (2)1日20mgを1~2回に分服 <b>【注】</b> (1)(2)1回20mgを1日2回緩徐に静注、点滴静注、筋注 (3)1回20mgを導入1時間前に筋注、静注
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> ショック アナフィラキシー様症状 汎血球減少 無顆粒球症 再生不良性貧血 溶血性貧血 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 肝機能障害 黄疸 横紋筋融解症 QT 延長 意識障害 けいれん 間質性腎炎 急性腎不全 <b>【備考】</b> D錠:口腔内崩壊錠	

## ホルモン剤

ビカルタミド bicalutamide カソデックス Casodex (アストラゼネカ) 錠〔劇〕:80mg 薬価 1392.1	<b>【効】</b> 前立腺癌 <b>【用】</b> 1日1回80mg
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 小児 女性 <b>【重大な副作用】</b> 重度肝機能障害 <b>【備考】</b> 非ステロイド性抗アンドロゲン作用	

## その他の代謝性医薬品

シベレスタット Na 水和物 sivelestat sodium hydrate エラスポール Elaspol 注：100mg/V 薬価 6167 (小野)	【効】全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害の改善 【用】1 日量(シベレスタット Na 水和物として 4.8mg/kg)を 250 ~ 500mL の輸液で希釈し、24 時間(1 時間当たり 0.2mg/kg)か けて静脈内に持続投与 投与期間：14 日以内
【禁】本剤成分過敏症【重大な副作用】呼吸困難 白血球減少【備考】好中球エラストラーゼ阻害剤	

## - 遮断薬

塩酸ランジオロール landiolol hydrochloride オノアクト Onoact 注〔劇〕：50mg/V 薬価 7349 (小野)	【効】手術時の次の頻脈性不整脈に対する緊急処置：心房細動、 心房粗動、洞性頻脈 【用】1 分間 0.125mg/kg/min の速度で静脈内持続投与した後、 0.04mg/kg/min の速度で静脈内持続投与 投与中は心拍数、血圧 を測定し 0.01 ~ 0.04mg/kg/min の用量で適宜調節
【禁】心原性ショック 糖尿病性ケトアシドーシス 代謝性アシドーシス 房室ブロック( 度以上) 洞不全症候群な ど徐脈性不整脈 肺高血圧による右心室不全 うっ血性心不全 未治療の褐色細胞種 本剤成分過敏症 【重大な副作用】ショック【備考】 <sub>1</sub> 選択的遮断剤 短時間作用型	

## 脳機能・代謝調整剤

オザグレルナトリウム sodium ozagrel カタクロット Cataclot (小野) 注：40mg/V 薬価 3196	<b>【効】</b> (1)クモ膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善 (2)脳血栓症(急性期)に伴う運動障害の改善 <b>【用】</b> (1)1日80mgを24時間かけて持続静注 術後早期に開始2週間持続 (2)1回80mgを2時間かけて1日朝夕2回の持続静注 約2週間
<b>【禁】</b> 出血性脳梗塞、硬膜外出血、脳内出血、原発性脳室内出血合併患者 脳塞栓症 本剤成分過敏症 <b>【原禁】</b> 脳塞栓症のおそれのある心房細動、心筋梗塞、心臓弁膜疾患、感染性心内膜炎及び瞬時完成型の神経症状を呈する患者 重篤な意識障害を伴う大梗塞 <b>【重大な副作用】</b> 出血 ショック アナフィラキシー様症状 血小板減少 肝機能障害 黄疸 顆粒球減少 白血球減少 腎機能障害 <b>【備考】</b> トロンボキサン合成酵素阻害剤	

## その他の酸性抗炎症剤

ロルノキシカム lornoxicam ロルカム Lorcam (大正) 錠〔劇〕：4mg 薬価 29.9	<b>【効】</b> 次の疾患並びに症状の消炎・鎮痛：慢性関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、頸肩腕症候群、肩関節周囲炎 手術後、外傷後及び抜歯後の消炎・鎮痛 <b>【用】</b> 1回4mgを1日3回食後に経口投与 1日18mgを限度とする 1回8mgを頓用 1回量は8mgまで 1日量は24mgまで 投与期間は3日まで 空腹時投与は避けることが望ましい
<b>【禁】</b> 消化性潰瘍 重篤な血液異常 重篤な肝障害 重篤な腎障害 重篤な心機能不全 重篤な高血圧症 本剤成分過敏症 アスピリン喘息又はその既往 妊娠末期の婦人 <b>【重大な副作用】</b> 消化性潰瘍 <b>【備考】</b> オキシカム系	

吸入用剤

<p>プロピオン酸ベクロメタゾン                  beclometasone dipropionate                  キュバール Qvar (大日本)                  170-ル : 15mg/本 (100 吸入) 薬価 4408.8</p>	<p>【効】 気管支喘息                  【用】 1 回 100 μg を 1 日 2 回口腔内に噴霧吸入                  1 日最大投与量 : 800 μg</p>
<p>【禁】 有効な抗菌剤の存在しない感染症 全身真菌症 本剤成分過敏症【原禁】 結核性疾患 呼吸器感染症 高血圧</p>	

- 遮断薬

<p>カルベジロール carvedilol                  アーチスト Artist (第一)                  錠 : 10mg 薬価 102                  錠 : 2.5mg 36.6</p>	<p>【効】 次の状態で ACE 阻害剤、利尿剤、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者 : 虚血性心疾患または拡張型心筋症に基づく慢性心不全 &lt;10mg 錠のみ&gt; 本態性高血圧症(軽症 ~ 中等症) 腎実質性高血圧症 狭心症                  【用】 1 回 1.25mg、1 日 2 回食後経口投与から開始 維持量 : 1 回 2.5 ~ 10mg を 1 日 2 回食後経口投与 ・ 1 日 1 回 10 ~ 20 mg 1 日 1 回 20 mg</p>
<p>【警】 慢性心不全患者に使用する場合には、慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること。                  【禁】 気管支喘息 気管支けいれん 糖尿病性ケトアシドーシス 代謝性アシドーシス 高度の徐脈 房室ブロック (、度) 洞房ブロック 心原性ショック 強心薬または血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 非代償性の心不全 肺高血圧による右心不全 未治療の褐色細胞腫 妊娠又はその可能性のある婦人 本剤成分過敏症                  【重大な副作用】 高度な徐脈 完全房室ブロック 心不全 心停止 肝機能障害 黄疸 アナフィラキシー様症状                  【備考】 非選択性 ISA (-) 抗酸化作用あり : = 1 : 8</p>	

強心配糖体

ジゴキシン digoxin ジゴシン Digosin (中外) 錠〔劇〕: 0.125mg 薬価 9.7 錠〔劇〕: 0.25mg 9.7 散〔劇〕: 1mg/g 13.8 注〔劇〕: 0.25mg/1mL/A 97	<p>【効】 次の疾患に基づくうっ血性心不全(肺水腫,心臓喘息等を含む): 先天性心疾患,弁膜疾患,高血圧症,虚血性心疾患(心筋梗塞,狭心症等),肺性心(肺血栓・塞栓症,肺気腫,肺線維症等によるもの),その他の心疾患(心膜炎,心筋疾患等),腎疾患,甲状腺機能亢進症並びに低下症等 心房細動・粗動による頻脈 発作性上室性頻拍 次の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療: 手術,急性熱性疾患,出産,ショック,急性中毒</p> <p>【用】 急速飽和療法(飽和量: 1~4 mg): 初回 0.5~1 mg,以後 0.5 mg を 6~8 時間ごとに服用 維持療法: 1日 0.25~0.5 mg          &lt;小児&gt; 急速飽和療法: 2歳以下: 1日 0.06~0.08 mg/kg を 3~4 回に分服 2歳以上: 1日 0.04~0.06 mg/kg を 3~4 回に分服 維持療法: 飽和量の 1/5~1/3</p> <p>【禁】 房室ブロック 洞房ブロック ジギタリス中毒 閉塞性心筋疾患(特発性肥大型大動脈弁下狭窄等) [注] ジスルフィラム シアナミド【原禁】 Ca 注射剤 塩化スキサメトニウム【重大な副作用】 高度の徐脈 二段脈 多源性心室性期外収縮 発作性心房性頻拍 重篤な房室ブロック 心室性頻拍症 心室細動【備考】 腎排泄型</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

カルバペネム系

ピアペネム biapenem オメガシン Omegacin (明治) 注: 0.3g/V 薬価 2056	<p>【用】 1日 0.6g を 2 回に分割し、30~60 分かけて点滴静脈内注射 投与量上限: 1日 1.2g</p> <p>【禁】 本剤成分によるショックの既往 バルプロ酸 Na【原禁】 本剤成分過敏症【重大な副作用】 ショック アナフィラキシー様症状 間質性肺炎 PIE 症候群 偽膜性大腸炎【備考】 カルバペネム系抗生物質</p>
------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 性腺刺激ホルモン剤

下垂体性性腺刺激ホルモン human menopausal gonadotrophin HMG テイゾー H M G teizo (帝国臓器) 注：150U/A (FSH) 薬価 3027	<b>【効】</b> 間脳性(視床下部性)無月経 下垂体性無月経の排卵誘発 <b>【用】</b> 1日 75～150 U を連続筋注し,頸管粘液量が約 300mm <sup>3</sup> 以上,羊歯状形成(結晶化)が第3度の所見を指標として(4～20日,通常5～10日間),胎盤性性腺刺激ホルモンに切り換える
<b>【警】</b> 本剤に引き続き,胎盤性性腺刺激ホルモン製剤を投与した場合又は併用した場合,血栓症,脳梗塞等を伴う重篤な卵巣過剰刺激症候群が現れることがある <b>【禁】</b> 卵巣腫瘍 多のう胞性卵巣症候群を原因としない卵巣腫大 妊娠又はその可能性のある婦人 <b>【原禁】</b> 児を望まない第2度無月経 多のう胞性卵巣 <b>【重大な副作用】</b> 卵巣過剰刺激症候群 血栓症 脳梗塞 卵巣破裂 卵巣茎捻転 呼吸困難 肺水腫 <b>【備考】</b> FSH : LH=約 1 : 1	

## 抗真菌剤

ミカファンギン Na micafungin sodium ファンガード Funguard (藤沢) 注〔劇〕: 50mg/V 薬価 7618	<b>【効】</b> アスペルギルス属及びカンジダ属による次の感染症：真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症 <b>【用】</b> アスペルギルス症：50～150mg を1日1回点滴静注。重症又は難治性は1日300mg を上限。カンジダ症：50mg を1日1回点滴静注。重症又は難治性は1日300mg を上限。
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> 血液障害(好中球減少) アナフィラキシー様症状 <b>【備考】</b> キャンディン系抗真菌剤 細胞壁(1、3-β-Dグルカン)合成阻害<殺菌的作用>	

その他の消化管作用薬

<p>インフリキシマブ (遺伝子組換え)                  infliximab (genetical recombination)                  レミケード Remicade (田辺)                  注〔劇〕: 100mg/V 薬価 113190</p>	<p>【効】 次のいずれかの状態を示すクローン病の治療 (既存治療で効果不十分な場合に限る): 中等度~重度の活動期にある患者 外瘻を有する患者                  【用】 中等度~重度の活動期: 体重 1kg 当たり 5mg を 1 回点滴静注 外瘻を有する患者: 体重 1kg 当たり 5mg を 3 回 (初回、2 週後、6 週後) 点滴静注 本剤投与時には 1.2 ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。</p>
<p>【警】 結核、敗血症を含む重篤な感染症及び脱髄疾患の悪化、悪性腫瘍等の発現の報告あり (有益性投与) 感染症: 重篤な感染症 結核 本剤投与に関連する反応 Infusion reaction 遅発性過敏症 (再投与の場合) 脱髄疾患の臨床症状及び/又は画像診断上の悪化の報告あり 詳細については添付文書参照。【禁】 重篤な感染症 (敗血症等) 活動性結核 本剤成分又はマウス由来の蛋白質 (マウス型、キメラ型、ヒト化抗体等) 過敏症 脱髄疾患 (多発性硬化症等) 及びその既往 NYHA 心機能分類 ~ 度のうっ血性心不全【重大な副作用】 敗血症、肺炎、真菌感染症を含む日和見感染症 結核 重篤な infusion reaction 遅発性過敏症 抗 dsDNA 抗体の陽性化を伴うループス様症候群                  【備考】 抗ヒト TNF モノクローナル抗体</p>	

ベンゾジアゼピン系催眠鎮静剤 (類縁化合物を含む)

<p>プロチゾラム brotizolam                  レンドルミン Lendormin (日本ベーリンガー)                  D錠〔向〕: 0.25mg 薬価 36</p>	<p>【効】 不眠症 麻酔前投薬                  【用】 不眠症: 1 回 0.25mg 就寝前 麻酔前投薬: 手術前夜 1 回 0.25mg 就寝前, 麻酔前 1 回 0.5 mg</p>
<p>【禁】 急性狭隅角緑内障 重症筋無力症【原禁】 呼吸機能高度低下 (肺性心、肺気腫、気管支喘息及び脳血管障害の急性期等)【重大な副作用】 肝機能障害 黄疸【備考】 短時間型 口腔内崩壊錠</p>	

## 抗ウイルス剤

リン酸オセルタミビル タミフル Tamiflu Cap : 75mg DS : 30mg/g	oseltamivir phosphate (中外) 薬価 377.7 288.3/g	【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症 【用】1回75mgを1日2回、5日間(成人及び37.5kg以上の小児)
【警】本剤の必要性を慎重に検討すること 予防効能での使用は推奨されていない【禁】本剤成分過敏症 【備考】ノイラミニダーゼ阻害作用 ウイルス増殖抑制		

## インターフェロン類

インターフェロンベータ-1b (遺伝子組換え) interferon beta-1b (genetical recombination) ベタフェロン Betaferon (日本シェーリング) 注〔劇〕: 960万U/V 薬価 11683	【効】多発性硬化症の再発予防及び進行抑制 【用】800万Uを皮下に隔日投与
【警】自殺企図、間質性肺炎があらわれることがあるので、精神神経症状や呼吸器症状が発現する可能性があることを患者等に十分説明し、不眠、不安、咳、呼吸困難等があらわれた場合には直ちに連絡するよう注意を与えること。注射部壊死があらわれることがあるので観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。【禁】本剤又は他のインターフェロン製剤及びヒトアルブミン過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 重度のうつ病又は自殺念慮の既往 非代償性肝疾患 自己免疫性肝炎 治療により十分な管理がされていないてんかん患者 小柴胡湯 ワクチン等生物学的製剤過敏症【重大な副作用】うつ病(自殺企図) 間質性肺炎 注射部壊死 けいれん 錯乱 離人症 情緒不安定 筋緊張亢進 重度な過敏反応 高度な白血球減少(2000/mm <sup>3</sup> 未満)・血小板減少(50000/mm <sup>3</sup> 未満) 汎血球減少 重篤な肝障害 心筋症 甲状腺腫 甲状腺機能異常【備考】オーファンドラッグ	

## プロトンポンプ阻害剤

ランソプラゾール lansoprazole タケプロン Takepron (武田) OD錠：15mg 薬価 147.8 OD錠：30mg 258.0	<b>【効】</b> (1)胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群 (2)逆流性食道炎 (3)胃潰瘍又は十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 <b>【用】</b> (1)1日1回30mg(胃潰瘍・吻合部潰瘍：8週間、十二指腸潰瘍：6週間) (2)1日1回30mg(8週間) 再発・再燃：1日1回15mg(効果不十分：1日1回30mg) (3)1回30mgを1日2回7日間
<b>【禁】</b> 本剤成分過敏症 <b>【重大な副作用】</b> アナフィラキシー反応 ショック 汎血球減少 無顆粒球症 溶血性貧血 顆粒球減少 血小板減少 貧血 重篤な肝機能障害 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 間質性肺炎 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎(Hp除菌療法) <b>【備考】</b> Hp除菌療法に使用可能 口腔内崩壊錠	

## その他の代謝性医薬品

リセドロン酸 Na 水和物 sodium risedronate hydrate ベネット Benet (武田) 錠〔劇〕：2.5mg 薬価 161.1	<b>【効】</b> 骨粗鬆症 <b>【用】</b> 2.5mgを1日1回、起床時に十分量(約180mL)の水とともに経口投与。服用後少なくとも30分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
<b>【禁】</b> 食道狭窄又はアカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害のある患者 本剤成分あるいはビスフォスフォネート系薬剤過敏症 低Ca血症 服用時に立位あるいは坐位を30分以上保てない患者 妊娠又はその可能性のある婦人 高度腎障害 <b>【重大な副作用】</b> 食道穿孔、食道潰瘍、食道炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍等の上部消化管障害 <b>【備考】</b> ビスフォスフォネート系	